



南条っ子 南条小学校だより

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和5年4月21日発

第5号



今回は、すべての内容が保護者向けですので、読みがなは付けていません。

○ こどもの読書週間 4/23～5/12

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」が、1959年(昭和34年)に始まりました。元々は、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より、4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとっても大切なことです。「こどもの読書週間」の間、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がたくさん行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手渡す週間でもあるのです。



【本校の読書に関する取組】

- 朝読書 日課表の中に読書の時間を設定する。8:05～8:15
- 週末読書 金曜日に本を持って帰り、土日に読書をする。
- 読み聞かせ 担任、図書ボランティア(ブックマザーズ)による読み聞かせを行う。
- ブックトーク 南条図書館司書に本を紹介していただく。
- 読書賞 推薦図書を読んだ児童を表彰する。
- 読破賞 高学年で5000ページ以上読んだ児童を表彰する。
- 読書月間 11月を読書月間として、いろいろな活動に取り組む。
- 読書の月別目標冊数 目標冊数の本を読む。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7、8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 計 |
|------|---|----|----|-----|---|----|----|----|---|---|----|
| 1・2年 | 7 | 10 | 10 | 15 | 7 | 10 | 10 | 8 | 7 | 8 | 92 |
| 3・4年 | 5 | 6 | 6 | 10 | 4 | 6 | 6 | 5 | 4 | 6 | 58 |
| 5・6年 | 3 | 4 | 4 | 8 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 41 |

- 親子読書 親子で読書活動に取り組む。

また、家庭における読書環境の整備は、次の3点がたいへん重要です。

- ・幼児には父母が本を読んで聞かせてあげる。(児童にも有効です。)
- ・子どもたちの身近にいつも本を置くことを考え、毎日たとえ短い時間でも本を読むことをすすめ、本を読むのを聞いてあげる。
- ・父母自らが読書する姿を、子どもたちの目にふれさせる。

ご家庭でも、ぜひ、良い読書環境を作っていただきたいと思います。

【読書が子どもの発達に及ぼす影響】

アンドリュー・デュアー氏(1961年カナダのトロント生まれ、2013年から岐阜県在住)によりますと、読書が子どもの発達に及ぼす影響は、14あるとのこと。

- ・語彙力が大幅に増える
- ・言葉と読解力が発達する
- ・学力が高まる
- ・想像力と集中力が鍛えられる
- ・性格が形成される
- ・感情や感性が発達する
- ・社会性が発達する
- ・人の気持ちを読める共感力が成熟する
- ・文脈理解力が鍛えられる
- ・経験の拡張ができる
- ・悩みを解消する力が身につく
- ・進路のヒントが得られる
- ・親などとの絆が深まる
- ・時間を楽しく過ごせる

【子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究】

国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センターが、子どもの頃の読み聞かせや読書活動の実態、読書活動が大人になった現在の意識・非認知能力に与える影響、それに読書活動を形成する要因を検証するために、全国の20～60代の男女5000名(各年代男女500名ずつ)を対象にインターネット調査を実施しました。そして、その結果が、令和3年8月11日に報告されました。

<調査結果(一部抜粋)>

- ・子どもの頃の読書量が多い人は、意識・非認知能力と認知機能が高い傾向がある。
- ・読書のツールに関係なく、読書している人はしていない人よりも意識・非認知能力が高い傾向があるが、本(紙媒体)で読書している人の意識・非認知能力は最も高い傾向がある。

○ 認知能力とともに育てたい非認知能力

知能検査や学力テストなどを行うことで、具体的な数値として表すことができる能力を認知能力と言いますが、非認知能力とは、具体的な数値としては表すことができないものの、人として生きる力の土台となる欠かせない大切な能力のことです。非認知能力が十分に備わっていないと、コミュニケーションを取りにくかったり、生きづらさを感じたりするかもしれません。とても大切で、注目されている能力です。

<非認知能力の例>

- 1 自己認識 …… 自分に自信をもつ、自己肯定感が高い
- 2 意欲 …… やる気がある、意欲的
- 3 忍耐力 …… 忍耐強い、粘り強さがある、根気がある
- 4 自制心 …… 強い意志を持っている、精神力が強い
- 5 メタ認知戦略 …… 自分の状況・スキルを把握する
- 6 社会的能力 …… コミュニケーション能力やリーダーシップがある
- 7 回復力・対処能力 …… 立ち直りが早い、できごとに対して上手に対応できる
- 8 創造性 …… 創造性がある、工夫ができる
- 9 性格的な特性 …… 誠実、好奇心旺盛、協調性がある、外交的

<非認知能力を伸ばすためにできること 例>

- ・子どもの好奇心を尊重する
- ・子どもの気持ちに共感してあげる
- ・他の子と比べない
- ・自信を持たせてあげる
- ・子どもの努力を褒める
- ・成功体験を増やしてあげる

お子様の長所として、どんな非認知能力が高いと思われるでしょうか。できるだけ身に付け、さらに伸ばして行ってほしいものです。